

# 幼児教育と小学校教育における接続を さらに深めるために

## ～相互理解を生み出すための取組～



令和2年3月

中央区教育委員会・中央区福祉保健部

## 目 次

1 保幼小連携の現状と課題	1
2 連携における年間プラン	3
3 資料	
(1)教師、保育者の連携	5
・保幼小連絡会	6
・保幼小地区別合同研修会	7
・引継ぎステップ	8
(2)幼児同士の交流活動	9
・みんなで遊ぼう！①～④	
(3)幼児、児童の交流活動	16
・仲良くなろう！①～④	
4 中央区立晴海幼稚園、月島第三小学校における接続期カリキュラム	23
5 小学校第1学年 学年だより(4月)例	25

## 保幼小連携の現状と課題

### (1) 国の動向

平成30年4月に、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が示され、3歳以上児の保育のねらいと内容が同じになり、幼児教育の保育として共通化が図られた。また、3歳未満児の保育も保育所と幼保連携型認定こども園で共通し、それが3歳以上児の幼児教育の土台となり、更に小学校教育の基盤となっている。

幼児教育が教育として義務教育の土台であることを示すために、5歳児修了時にどこまで育ってほしいか幼児の育ちを明確化する必要がある、5歳児の成長の方向性として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された。このことにより、幼稚園、保育所、認定こども園における幼児教育の方向性が共通になった。


小学校学習指導要領第1章総則第2の4の(1)においても、小学校教育における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の取り扱いが示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。」と明記された。幼稚園、保育所と小学校の教員がもつ5歳児修了時の姿が共有されることにより、幼児教育と小学校教育の学びの連続性の強化が期待される。

### 保育所・幼稚園生活

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- **健康な心と体**…自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
- **自立心**…自分の力でやり遂げる体験などを通じて自信をもって行動するようになる。
- **協同性**…友達と一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりするようになる。
- **道徳性・規範意識の芽生え**…  
よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりを守ったりするようになる。
- **社会生活との関わり**…  
家族を大切にしたり、身近な人と触れ合って地域に親しみをもつようになる。遊びや生活に必要な情報を役立てて活動したり、公共施設を利用して、社会とのつながりを意識するようになる。
- **思考力の芽生え**…  
身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様な関わりを楽しむようになる。
- **自然との関わり・生命尊重**…  
自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。生命の不思議さなどに気付き、動植物を大切にするようになる。
- **数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**…  
遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しんだりして、興味や関心、感覚をもつようになる。
- **言葉による伝え合い**…  
経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむようになる。
- **豊かな感性と表現**…  
心動かす出来事に触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

※これらは到達目標ではなく、一人一人の発達に応じて育っていきます。  
また、それぞれの姿の一部のみを記載していますので、詳しくは以下をご覧ください。  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/youchien/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/index.htm)



## (2) 中央区の保幼小連携の現状

令和2年2月に各施策の取組状況や社会情勢の変化、学校教育を取り巻く状況の変化などを踏まえ、教育委員会として「中央区教育振興基本計画2020」を新たに策定し、今後10年間で進める教育課題についてまとめた。また、福祉保健部では、子ども・子育て支援法制定に基づき、安心して子どもを産み育てていける環境づくり、子育て支援策を総合的に推進する「第二期中央区子ども・子育て支援事業計画」を策定した。

このような動きの中で、教育委員会事務局指導室と福祉保健部子育て支援課において、幼児期の教育についての基本的な考え方を共通の認識に立って進めている。

本区の保幼小連携の実際として、以下の取組を進めている。

- ①保幼小連絡会…保育所、幼稚園、小学校間の幼児・児童の交流活動、保幼小の管理職が連携の在り方を考える。
- ②保幼小地区別合同研修会…保幼小の保育士、教諭が保育、授業参観、協議をすることで、互いの教育への理解を深める。
- ③保幼小連携推進委員会…保幼小の保育士、教諭の代表で組織され、課題改善に向けた指導資料等の作成をする。
- ④交流活動…保幼小の幼児同士、幼児と児童との交流活動を行い、互惠性のある活動を進める。
- ⑤保育実習…保育士、幼稚園教諭が互いの職場で実習を行い、幼児教育としての見地を広める。
- ⑥合同研修会…保育士、幼稚園教諭が合同で研修等を行い、教員、保育士の専門性、保育の質の向上を図る。

私立・公立を問わず認可・認証の保育所と幼稚園、認定こども園（以下「保育園等」という）小学校が連携していることが、本区の保幼小連携の特長と言える。

## (3) 中央区の保幼小連携の課題

この数年子どもの増加に伴い、就学前施設においては保育所が増設され、教育・保育の多様化が進み、小学校においては区全体的に学級数の増加が進んでいる。また、幼稚園教育要領、保育所保育指針、小学校学習指導要領の改訂が行われたことで、改めて、幼児教育と小学校教育の連携、接続に視点をおいてカリキュラム及び、交流活動の意義や連携そのものを見直す必要性が高まった。

こうしたことから、令和元年度の保幼小連携推進委員会として、保幼小連絡会、地区別合同研修会の意義、年間計画案、交流活動の実際等の指導資料を作成することとした。また、学校区連携グループをつくり、連携する保幼小を明確にし、よりスムーズに連携を図りやすくする体制を整えることとした。



資料2 連携における年間プラン【参考】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教師・保育者の連携			保幼小連絡会① (P6)	保幼小地区別合同研修会 (P7)	地域の保育所等の見学 2, 3学期の交流についての担当者会				引継ぎステップ1 (P8)		保幼小連絡会② (P6)	引継ぎステップ2 (P8)	引継ぎステップ3 (P8) スタートカリキュラムについての情報交換
		運動会・学芸会・展覧会・学校公開・幼稚園公開等の案内を連携グループ内で交換する											
幼児同士の交流活動			みんなで遊ぼう!① (P10)	みんなで遊ぼう!② (P11)	水遊びを通じた交流		運動会を通じた交流		みんなで遊ぼう!③ (P12)		みんなで遊ぼう!④ (P13)		
		劇遊び・展覧会等を通じた交流											
幼児・児童の交流活動		運動会・学芸会・展覧会等、練習、リハーサルを含め参観する											
		近隣の散歩途中に、校内見学や校庭見学を行う											
就学までの流れ	就学相談		上旬 ・就学相談受付開始 (年間受付)	右の流れで就学先を決定。 就学相談の申込み ⇒ 個別行動観察 ⇒ 心理アセスメント ⇒ 医師の診断 ⇒ 保護者への説明 ⇒ 就学先の相談									
	指定校						中旬～下旬 ・小学校指定校変更受付期間	中旬 ・小学校指定校変更申請結果		就学時健康診断 *指定校が10月中に承認された幼児は変更先で受診する。その他の幼児は通学区域の小学校で受診する。	月末 ・保護者へ就学通知書を送付 (特認校制度等の承認結果を反映したもの)		下旬 ・新1年生学級編成
特認校				下旬 ・特認校制度の案内		学校説明会開催 (申請希望者は必ず参加する)	特認校制度の申請受付期間		上旬 ・小学校特認校申請結果通知 →必要に応じて抽選	11月下旬～2月 ・小学校特認校面接 (各学校による)			
						小学校の特別活動に位置付けられている「〇〇まつり」に参加する	仲良くなろう!① (P17) 5年生との交流 就学時検診前の遊びを通じた交流	仲良くなろう!② (P19) 1年生との交流 どんぐり遊び	仲良くなろう!③ (P20) 5年生との交流 交流給食	仲良くなろう!④ (P21) 1年生との交流 学校体験			

(P6) に参照となる事例が掲載されています。学校、幼稚園、保育所等の実態に応じて活用してください。



### 3 資料

#### (1) 教師、保育者の連携

子どもの育ちを支えるためには、教員、保育士の連携が不可欠です。中央区では私立、公立を問わず認可、認証の保育所と幼稚園、認定こども園、小学校が連携しています。連絡会等のねらいを再度見直しながら、子どもの育ちをつなげていきましょう。



## 保幼小連絡会

～小学校区などの園長、校長、保幼小の連携担当者の顔合わせ～

### 1 ねらい

- ・ 保育所等、幼稚園の就学前施設と小学校の連携の担当者が顔合わせを行い、知り合う。
- ・ 保育所等、幼稚園、小学校の指導内容や方法について情報交換する。
- ・ 行事予定や日程表を持ち寄り、連携の日程調整を行う。

### 2 日程及び内容<令和2年度>

#### 保幼小連絡会（第1回）

- ・ 令和2年5月19日（火）  
15:00～16:30

#### 内容

##### ①全体会

- ・ 今年度の方針説明

##### ②学校区連携グループ別

- ・ 年間の行事予定について
- ・ 年間の活動について
- ・ 互いの指導法について共有する

#### 保幼小連絡会（第2回）

- ・ 令和3年1月25日（月）  
15:00～16:30

#### 内容

##### ①全体会

- ・ 活動報告

##### ②学校区連携グループ別

- ・ 反省
- ・ 次年度に向けての情報交換
- ・ 引継ぎウィークの確認

### 3 期待される効果

- ・ 保育所等、幼稚園および小学校がどのような内容や願いをもって指導しているか情報交換することで、地域の子どもたちの課題や互いの教育・保育の違いや役割を共通理解することができる。
- ・ 円滑な接続のために考慮・工夫することを考える視点をもつことができる。
- ・ 地域や年度の状況に応じた日程で、連携・接続の活動を実施することができる。

### 4 つながる視点

- ・ 保育所等、幼稚園、小学校の管理職が顔合わせを行い、知り合うことで、日頃のつながりが生まれやすくなる。
- ・ 日程調整では行事予定表や便りの交換等を通して、園内研修・校内研修等の交流を取り入れることができ、互いの取組を理解するきっかけとなる。



## 保幼小地区別合同研修会 ～子どもの発達の連続性を学ぶ～

### 1 ねらい

- ビデオカンファレンスを通して、就学前教育と小学校教育との接続に求められる指導内容や方法について保育士、教員が相互理解を図り、日常の指導の改善・充実に生かす。

### 2 日程及び内容

- 令和2年5月～6月（3地区）
- 内容
- ①ビデオカンファレンス
  - ②小グループによる協議
- 例)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 協議用シート」を活用した協議会
- ③情報交換

### 3 期待される効果

- 保育者が小学校教員との研修を通して、園としての保育の在り方を考え、園全体で年齢に応じた指導計画の充実及び実践に努めることができる。
- 小学校教員が保育者との研修を通して、接続期の子どもの発達に応じた指導について学び、地域の子どもにとって適切な指導やカリキュラム編成を考える。

### 4 つながる視点

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に視点を絞り、ビデオカンファレンスを実施することで、子どもの姿に基づいた幼児期から児童期への発達過程の理解をより深めることができ、発達を見通した指導を実施することにつながる。

## 引継ぎステップ

～保育所等、幼稚園から小学校へ引継ぎ～

### 1 ねらい

- ・次年度入学する幼児の実態や指導の接続を図る上で必要となる留意事項などについて、保育所等、幼稚園から小学校に伝え、小学校入学後の児童の指導に生かし、保育所等や幼稚園においては今後の幼児の指導への見通しをもてるようにする。
- ・就学前の効果的な指導や配慮について、小学校生活を見通した切れ目のない指導や手立てについて互いに知り合い、指導に生かす。

### 2 日程及び内容

ステップ① ～就学時健診に向けて～ 11月頃

- ・健診を受ける小学校に対し、面談等で特に注視してほしい内容を伝える。

ステップ② ～学級編成に向けて～ 2月～3月頃

- ・生活習慣の定着、友達関係、集団生活・集団行動の経験、配慮事項等、幼児がスムーズに小学校生活をスタートできるように、詳細について伝える。

ステップ③ ～次年度に向けて～ 3月頃

- ・幼児期の教育の5領域を窓口にして、個に応じた援助や環境づくりの進め方を丁寧に記した、幼稚園指導要録、保育所児童保育要録を就学先に届ける。特記事項については、小学校管理職に伝える。

### 3 引継ぎの留意点

- ・学校区で引継ぎ日を設定するなどし、必要事項が必ず引き継がれるようにする。
- ・時期に応じた内容を伝える。

### 3 資料

#### (2) 幼児同士の交流活動

年長児同士の交流を通して、自園では経験できない触れ合いや刺激を受け合い、就学への期待を高めていきましょう。また、保育士と幼稚園教諭の打合せの中では、就学前教育としての指導内容の共有や教材の情報交換等を行い、見地を広げていきましょう。



みんなで遊ぼう！①～幼児同士の交流～

1 日時	5月		A園 幼児 5歳児
2 場所	開催園の遊戯室・園庭		(〇〇組) 男児 名 女児 名 計 名
3 めあて	・他園の幼児に親しみをもって関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。		B園 幼児 5歳児 (〇〇組) 男児 名 女児 名 (〇〇組) 男児 名 女児 名 計 名
4 交流の内容 ・開催園の施設を一緒に周りながら、互いの施設の違いを知る。 ・みんなで一緒に遊ぶことを楽しむ。			
時間	A園幼児の動き	B園幼児の動き	援助・環境
10:00	○B園着 ・靴を履き替える。 ・名札を付ける。	○遊戯室に集まる ・A園幼児を迎える。 ・名札を付ける。	・互いの幼児に会うことを楽しみにする姿や緊張している姿を受け止める。
10:10	○遊戯室に集まる ・開催園園長挨拶を聞く。 ・グループに分かれて自己紹介をする。		・担任同士が笑顔で挨拶をし、幼児の安心感につながるようにする。 ・互いの顔が見え、話しやすいように集まる場所に配慮する。 ・幼児が話をしたり、相手の話を聞いたりできるように声を掛ける。
10:15	○リズムをする。 ○グループに分かれて、園内を見学する。		・一緒に見学をしたり、遊んだりしながら、幼児の気持ちに共感する。
10:30	○園庭で遊ぶ。 ・折り返しリレー ・しっぽとり		・互いに関わろうとしている姿を受け止めたり、つなげる援助を行ったりする。 ・リレーなどでは、混合のチームとなるように配慮する。
10:50	○片付ける。		・一緒に遊戯室に行くことができるように声を掛ける。
10:55	○遊戯室に集まる。 ・水分補給をする。		
11:00	○互いの歌を聞く。 ○一緒に歌を歌う。 ○幼児の感想を聞く。 ○開催園園長挨拶を聞く。 ○挨拶をする。		・互いの歌や話を聞いた楽しさや嬉しさに共感する。 ・一緒に遊んだ楽しさを受け止め、次回の交流に期待がもてるような声を掛ける。 ・次回の交流に期待をもてるように話をする。
11:15	○A園幼児は身支度をし、出発する。		
5 事前指導	当日行うゲームや一緒に歌う歌は事前に親しんでおき、安心感をもって交流活動に参加できるようにする。		
6 準備物	〈A園〉名札・上履き・カラー帽子・水筒・救急用品 〈B園〉名札・カラー帽子・三角コーン・バトン・ケンステップ・しっぽ・縄・救急用品		
7 評価	・他園の幼児に興味や親しみをもって関わっていたか。 ・一緒に遊ぶことを楽しんでいたか。		

みんなで遊ぼう！②～幼児同士の交流～

1 日時	10月	A園 幼児 5歳児
2 場所	(晴) 地域のグラウンド	(〇〇組) 男児 名 女児 名 計 名
3 めあて	・同じ地域の園の交流の中で、幼児同士の関わりを通し親しみや興味・関心をもつ。 ・共通の活動を通して、交流を楽しむ。	B園 幼児 5歳児 (〇〇組) 男児 名 女児 名 (〇〇組) 男児 名 女児 名 計 名
4 交流の内容 ・みんなで体を動かして遊ぶことを楽しむ。		
時間	幼児の動き	援助・環境
10:50	○各園の都合の良い時間にグラウンドに集合し、好きな遊びをする。 (長縄、鬼遊び、かけっこ 等)  ○参加園が集合する。 ・挨拶  ○グラウンドで遊ぶ。 ・リレー  ○水分補給をする。	・多数の幼児が参加するので、怪我のないように、教員、保育士間で連携を図る。(動線、コーナーの場等) ・遊びのコーナーをつくり、幼児同士が関わり合い、安全に活動できるようにする。  ・集合し、幼児の人数を確認する。  ・リレーのグループは各園混合となるように配慮する。 ・ルールの確認をする。(バトン、タッチで交代) ・アンカーたすきを配る。
11:15	○挨拶する。 ○解散する。	・一緒に遊んだ楽しさを受け止め、次回の交流に期待がもてるような声掛けをして、解散する。
5 事前指導	リレーのルールや、やり方は事前に知らせ、当日は安心して活動できるようにする。	
6 準備物	コーン・バトン (必要に応じて)・アンカーたすき…事前に分担を決めておく。 カラー帽子、救急用品、水筒、ビブス (必要に応じて)	
7 その他	人数調査をするために、事前に担当園に各グループの人数を知らせる。	
8 評価	・他園の幼児に親しみをもって関わりを楽しんだりしていたか。 ・リレーをすることを楽しんでいたか。	

みんなで遊ぼう！③～幼児同士の交流～

1 日時	1 1 月		A園 幼児 5歳児
2 場所	開催園の遊戯室・保育室		(〇〇組) 男児 名 女児 名 計 名
3 めあて	・他園の幼児に親しみをもって関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。		B園 幼児 5歳児 (〇〇組) 男児 名 女児 名 (〇〇組) 男児 名 女児 名 計 名
4 交流の内容			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催園の施設を一緒に周りながら、互いの施設との違いを知る。</li> <li>・みんなで一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>			
時間	A園幼児の動き	B園幼児の動き	援助・環境
10:00	○遊戯室に集まる ・B園幼児を迎える。	○A園着 ・靴を履き替える。 ・名札を付ける。	・幼稚園児、保育園児との再会を楽しみにする姿を受け止める。
10:10	○遊戯室に集まる ・開催園園長挨拶を聞く。 ・グループに分かれて自己紹介をする。		・担任同士が笑顔で挨拶をし、幼児の安心感につながるようにする。 ・互いの顔が見え、話しやすいように集まる場所に配慮する。
10:15	○グループに分かれて、園内を見学する。		・保育者が積極的に他園の幼児の名前を呼んで、話し掛ける。 ・幼児が話をしたり、相手の話を聞いたりできるように声を掛ける。 ・幼児の言葉を反復したり、幼児が案内できるように声を掛けたりする。 ・グループごとに園舎を回る順番を変えたり時差をつけたりして、混雑しないようにする。
10:45	○遊戯室に集まって遊ぶ。 ・リズム ・もうじゅうがり ・新聞島から SOS		・自園の幼児ではない友達とグループになれるようなルールにして、お互いが関わって遊ぶことができるように声を掛ける。
11:15	○水分補給をする。		・一緒に遊んだ楽しさに共感し、また地域や小学校で会えることを楽しみに出来るように声を掛ける。
11:20	○一緒に歌を歌う。 ・互いに感想を伝える。 ・開催園園長挨拶を聞く。 ・挨拶をする。		
11:30	○B園幼児は身支度をし、出発する。		
5 事前指導	当日行うリズムやゲームは事前に親しんでおき、安心感をもって交流活動に参加できるようにする。		
6 準備物	〈A園〉名札・新聞紙・救急用品 〈B園〉名札・カラー帽子・上履き・上履き袋・救急用品・水筒		
7 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園の幼児に興味や親しみをもって関わっていたか。</li> <li>・一緒に遊ぶことを楽しんでいたか。</li> </ul>		



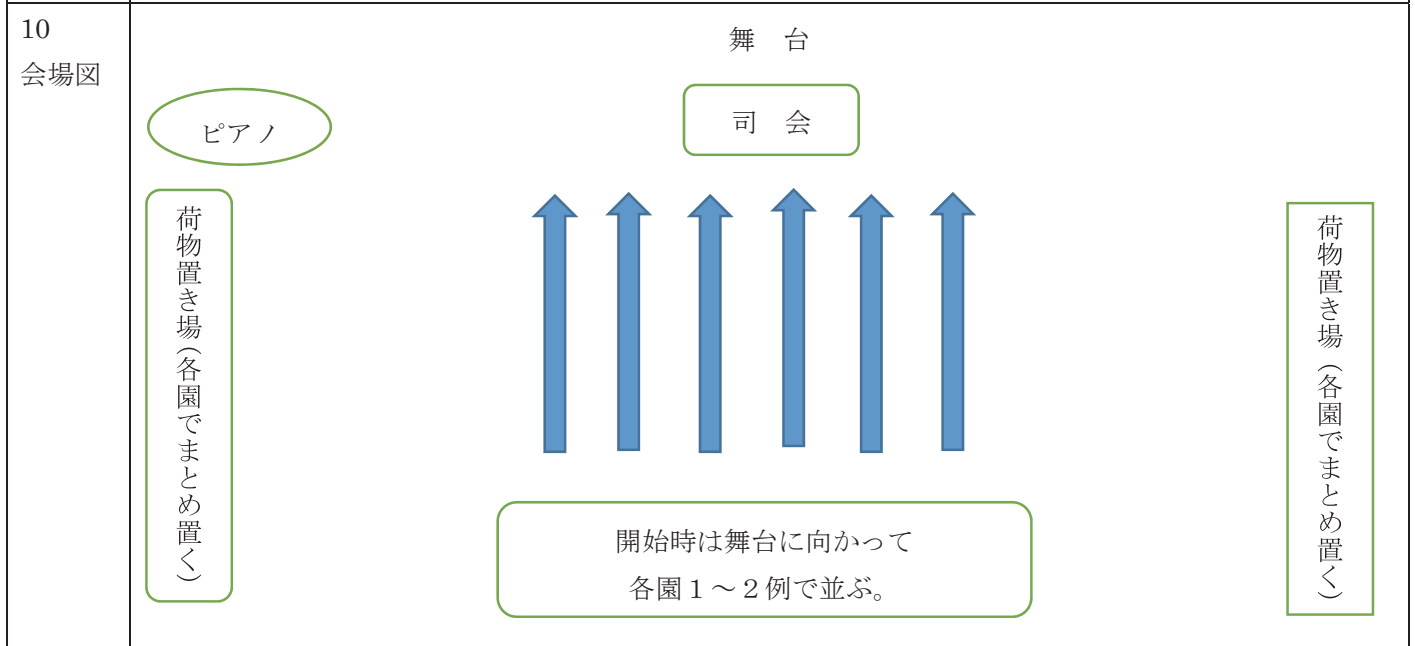
みんなで遊ぼう！④  
～幼児同士の交流から小学校見学へ～

1 日時	1 1月～2月（地域の保育所が集まりやすい時期）		
2 場所	〇〇小学校 体育館		
3 めあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内の保育園児・幼稚園児との関わりを通して、親しみや興味・関心をもつ。</li> <li>・ 小学校生活への期待をもつ。</li> </ul>		
4 参加園 人数	園名（カラー帽子の色）	幼児参加人数（男・女）	引率人数
	計		
5 事前指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流で行う、ゲームやリズムに親しみ、期待がもてるようにする。</li> </ul>		
6 交流の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内の幼稚園児・保育園児と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・ 小学校施設見学を通して、小学校生活への期待をもつ。</li> </ul>		
7 活動の進行	（           園）           （活動内容           ） （           園）           （活動内容           ）		
時間	保育園児の動き	幼稚園児の動き	援助・環境
～10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼稚園玄関より入る。</li> <li>・ 靴を履き替える。</li> <li>・ 体育館へ移動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育館で保育園児を出迎える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士は受付で人数を伝える。</li> <li>○ 保育園児には、上履き袋の中に外履きを入れるように伝える。</li> <li>○ 担任同士が笑顔で挨拶をし、幼児が安心感をもてるようにする。</li> </ul>
10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育館に集まる。</li> <li>・ 参加園の園長の挨拶を聞く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互いの顔が見える場所に配慮する。</li> </ul>
10:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>① みんなで踊ろう！リズムをする。</li> <li>「エビカニクス」「パプリカ」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各園の保育者が前に出て見本を見せる。</li> </ul>
11:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>② みんな仲良し！ゲームをする。</li> <li>「もうじゅうがりにいこう」</li> <li>・ リボンの色、もしくは帽子の違う友達とグループを作る。（原則4人）</li> <li>・ グループができれば、全員で手をつないで座る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ルールの確認をする。</li> <li>・ 原則4名で1グループとする。できたら座る。</li> <li>○ 4回程度行い、少しずつ文字数を増やす。</li> <li>○ 最後は次のゲームにつなげるために、3文字にする。</li> <li>○ リボンの色もしくは帽子の色が違う友達でグループになっているかを確認する。</li> <li>○ 自園の幼児だけではなく様々な幼児に声を掛けるようにする。</li> <li>○ グループができればすぐに座るように促し、入っていない幼児が分かるようにする。</li> </ul>

11 : 15	<p>③みんなでクイズ！「〇×クイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②の最後のグループ（3人組）で座る。</li> <li>・（全7問）グループの友達と答えを相談し、〇×で答える。</li> <li>・札持ち（〇〇園 2名 )</li> <li>・縄持ち（〇〇園 2名 )</li> </ul>	<p>〇ルールの確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの友達と答えを相談し、〇×で答える。</li> </ul> <p>〇各園の保育者が1問ずつ簡単なクイズを出す。</p> <p>〇3人で相談している姿を認める。</p> <p>〇相談が難しいグループには、「どう思うか聞いてみたら？」などと声を掛け、相談ができるように促す。</p>
11 : 30	<p>〇終わりの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校校長の話を聞く。</li> </ul> <p>〇帰る支度をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物があるところに来る。</li> <li>・トイレをすます・荷物を持つ。</li> <li>・体育館入り口に、園ごとに並ぶ。</li> </ul>	<p>〇小学校校長を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の教室を案内することを話す。</li> <li>・トイレは混雑することも予想されるので、1年生教室見学の後でもよい。（その場合は幼稚園トイレ使用）</li> </ul>
11 : 40	<p>〇廊下より授業の様子を見る。</p> <p>〇幼稚園玄関より帰る。    〇保育園児を見送る。</p>	<p>〇支度ができた園より、1年生の教室に引率する。</p>

8	準備物	担当	備考
準備物	名札	各園	園で用いている名札がない場合は、それに代わるものを胸に付ける。（名前が分かるように）
	受付準備		参加園確認、受付、人数記入用紙、事後アンケート配布、集計
	音響等準備		
	表示		
	〇×クイズ札、長縄		
	小学校との打ち合わせ		

9 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園の幼児に興味や親しみをもって関わり、一緒に遊ぶことを楽しんでいたか。</li> <li>・小学校見学を通して、就学への期待をもつことができたか。</li> </ul>
---------	---



交流後の反省が次年度のよりよい活動に結びつきます。本アンケートを活用し、次年度の計画を進めていきましょう。

## 5歳児交流会「みんなであそぼう！」 事後アンケート（参考）

園 名	
-----	--

### 当日の実施内容について

- ① 内容についてご意見・ご感想をお聞かせください。

[ ]

- ② 改善点があればお書きください。

[ ]

### 次年度の実施について

- ① 次年度、同様の主旨・内容の会を計画したら参加したいですか。○をつけてください。

参加したい ・ 参加しない [理由: ]

- ② ①で「参加したい」と回答した方にお聞きします。

- ②-1 次年度の年間行事予定は、例年いつ決定しますか？（おおまかな行事だけでも）

[ ] 月 [ 上旬 ・ 中旬 ・ 下旬 ] 頃

- ②-2 時期・内容・内容の検討方法など、実施に向けた準備の進め方について、ご意見をお聞かせください。

[ ]

- ③ その他、保育所・こども園・幼稚園連携についてのご意見をお聞かせください。  
(教育内容・小学校との接続、など)

[ ]

ありがとうございました。

### 3 資料

#### (3) 幼児・児童の交流活動

互恵性のある交流活動をするためには、幼児側、児童側のねらいを互いに理解して活動を進めることが重要です。ねらいを理解することで、子どもに対しての言葉掛けや見守る視点が定まります。打ち合わせ時には必ずおさえていきましょう。



活動名 仲良くなるろう！① ～就学時健診に向けて～

1日時	2学期 月 日 校時 ( : ~ : )		年長児 ( 組) 計 名 5年生 ( 組) 計 名
2場所	体育館		
3 めあて ・ ねらい	小学校 (めあて)	・次年度の新一年生と仲良くなる。	園児1人×5年生1人～2人 ×2組=1グループとする。 1グループが4～6人 合計 ( ) ～ ( ) グループ
	幼稚園 保育所 (ねらい)	・自分のペアやグループの小学生の、顔や名前を知り、関わることを楽しむ。	

4 事前指導	6 環境図
幼稚園・保育所：5年生と交流することに期待をもてるようにする。 小学校：ペアの幼児の名前を知る。 仲良くなるとはどういうことか考える。 自分の名前を園児に覚えてもらえるように、自分の名前入りのメダルを作る。	
5 活動の進行 ( ) 教諭 (活動内容: ) ( ) 教諭 (活動内容: )	

時間	援助・環境 (児童に向けて)	児童の動き	幼児の動き	援助・環境 (幼児に向けて)
11:30		○体育館に学級毎に並ぶ。 ○保育者、小学校の教員の自己紹介を聞く。	○体育館に学級毎に並ぶ。 ○保育者、小学校の教員の自己紹介を聞く。	
11:35	○ペアになったら、『空いている場所にグループで丸くなって座ること』『学級の順に動くこと』を確認する。	○ペアになる。 ○ペアの幼児を探し、空いている場所に連れて行き、丸くなって座る。	○ペアになる。 ○ペアの児童が来るまで待ち、一緒に丸くなって座る。	○最後の方に迎えに来てもらう幼児は緊張すると思うので、側に寄り添い、安心できるようにする。
11:40	○仲良くなるというめあてを思い出せるようにしてから、自己紹介を行えるようにする。	○自己紹介をし、自分の名前を教える。 ○自分の名前の書いてあるメダルを園児の首に掛け、プレゼントする。	○自己紹介を聞く。 ○5年生の名前を覚えようとする。 ○メダルをもらう。	○5年生に名前を教えてもらったり、メダルをもらったりした嬉しさに共感する。
11:45	○ボールを投げる幼児がいた時には、遊べるように、やめた方がよいことを伝えられるように促す。 ○質問内容が「好きな教科」の時には、幼児が小学校就学を楽しみにできるように、様々な教科が出るような言葉を掛ける。 ○お題に対して、応えられない幼児がいる時には、幼児に尋ねられるように促したり、5年生なら何を言おうか話せるよう促したりし、言いやすい雰囲気をつくれるようにする。	○「あなたですゲーム」(爆弾ゲーム)をする。(6回)	○「あなたですゲーム」(爆弾ゲーム)をする。(6回)	○手渡しできるように手を添えたり、言葉で伝えたりする。 ○小学生の言動に気付かせたりする。  ○お題に対して応えられない幼児には、安心できるように保育者が同じ目線で寄り添う。また、幼児の思いを引き出し、小学生につなぐ。

1 質問内容を聞いてから、音楽を掛ける。音楽が掛かっている間、ボールを回す。

2 音楽が止まった時に、ボールを持っていた幼児または児童が、質問に答える。

A 好きな食べ物 (小学生：給食)  
B 好きなお菓子 C 好きな色  
D 好きな虫 E 好きな動物  
F 好きな遊び (小学生：好きな教科と内容)

幼児は教科名だけでは内容が分からない為

11:55	○幼児が喜んでいることに気付けるような言葉を掛ける。	○リズムを踊る。手遊びをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">         リズム例：          「ラウンドチェーン」          「ひつつきもつつき」          手遊び例：          「いっぽんぼし」       </div> ○保育者が踊っている動きを見て、踊りを覚える。 ○ペアの幼児と触れ合って踊る。	○リズムを踊る。手遊びをする。 ○保育者の動きを見て、自分たちが知っているリズムを踊ることを楽しみにする。 ○ペアの5年生と触れ合って踊る。	○5年生と触れ合う楽しさに、共感し、声を掛ける。
12:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>おんぶりレー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           折り返し            行き：おんぶ            帰り：手をつなぐ         </div> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>お絵かきゲーム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           見本は出さず、グループごとの面白さを大切にし、輪郭から描き始める。1つずつ描く場所を知らせながら、書き進め、グループみんなで進めていけるようにする。         </div> </div> <div style="width: 30%;"> <p>わたしをみつけてゲーム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           全員で円になり、各グループから一人ずつ円の中に入り、目をつぶる。歌を歌いながら、円の人たちは周り、歌が終わったら円の中にいる人を呼ぶ。呼ばれたら目を開けて、ペアのところへ行く。         </div> </div> </div> </div>			
12:10	○5年生の表情を温かく見守る。	○会の終わりを知る。 ○幼児に手を振ったり、握手をしたりする。	○会の終わりを知る。 ○5年生にお礼を言う。 ○5年生と握手をする。	○5年生と関わった楽しさが実感できるような言葉を掛け、感謝の気持ちをもてるようにする。
	○ワークシート後に、個別に幼児が喜んでたことを伝え、認める。	○振り返り（教室） ○振り返りのワークシートを行う。 ①どんな姿から仲良くなれたと感じるか ②困ったことは何か ③次はどのように関わるか	○振り返り（保育室） ○楽しかったことを学級活動で聞く。その後個別にも聞く。	○5年生と関わった楽しさに共感する。 ○5年生への憧れの気持ちをみんなで共有できるようにする。
7 準備物	〈小学校〉 体育館のボール、八切りの画用紙、サインペン（全て、15～16ずつ） 〈幼稚園・保育所〉 デッキ、マイク、カセット（ジャングルぐるぐる、あなたですゲーム用の音楽）			
8 評価	〈小学校〉 ・幼児が、自分たちよりも体が小さいこと、考えていることがあることに気付いたか。 ・幼児とまた関わりたいという気持ちをもっていったか。 ・幼児が困っているときに、自分なりに関わることができたか。 〈幼稚園・保育所〉 ・小学生の名前や顔を覚えたか。 ・保育室に戻り、楽しかった思いを表情や言葉で表していたか。 ・小学生とまた関わりたいという気持ちをもっていったか。			



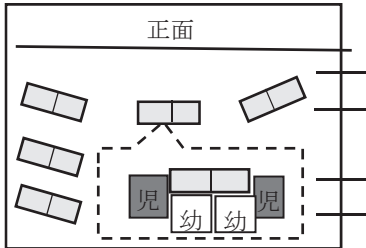
## 活動名 仲良くなろう！② ～どんぐり遊び～

1 日時	2 学期 月 日 校時 ( : ~ : )	年長児 ( 組)	計 名	
2 場所	各教室	1 年生 ( 組)	計 名	
3 めあて ・ ねらい	小学校 (めあて)	・ 幼児との関わりを楽しむ。		
	幼稚園 保育所 (ねらい)	・ ペアの1年生と、どんぐりを使って遊ぶことを楽しむ。 ・ 教室や小学校の雰囲気に関心をもつ。		
4 事前指導		6 環境図		
幼稚園・保育所：小学校がどのようなところか話を聞いたり、写真を見たりする。 小学校：幼児に優しい言葉を使って遊び方を教えられるように、話をする。				
5 活動の進行		はじめの挨拶～活動中 小学校教諭 ( ) おわりの挨拶 保育者 ( )		
時間	援助・環境 (児童に向けて)	児童の動き	幼児の動き	援助・環境 (幼児に向けて)
9:25	○ペアになる幼児の名前が分かるようにしておく。 ○自分の名前と好きな物を最初に伝え、その後に幼児に自己紹介してもらおうという流れを伝えておく。	○幼児を迎えに行く。 ○1年生担任より挨拶 ○ペアになり、自己紹介をする。 ○手をつないで、教室に行く。	○トイレを済ませ、保育室で待つ。 ○1年生が迎えに来る。 ○ペアになり、自己紹介をする。	○1年生が楽しいことを考えてくれていることを伝え、活動に期待がもてるようにする。 ○楽しみや緊張など幼児の気持ちを受け止め、安心して参加できるようにする。
9:30	○必要に応じて、幼児のペースに合わせて一緒に歩くことを伝える。	○ペアの幼児を自席に案内する。	○手をつないで、教室に行く。	○それぞれの関わりを把握しながら、声を掛けたり、思いに共感したりする。
9:40	○安全に遊ぶための約束を確認する。 ○遊び方や手本を示してから、一緒に遊べるように伝える。 ○環境をお店のように整え、楽しい雰囲気をつくり、互いに関わりやすくする。	○自分の作ったどんぐりおもちゃで一緒に遊ぶ。(どんぐり転がし、松ぼっくり剣玉等) ○ペア以外の幼児と関わりをもつ。	○ペアの児童の椅子に座り、話を聞く。 ○どんぐりおもちゃで遊ぶ。(どんぐり転がし、松ぼっくり剣玉等) ○他の1年生のおもちゃでも遊ぶ。	
9:55	○本時のめあてに対して、どうであったかを話せるように投げかける。	○1年生の担任の話を聞く。 ○感想を発表する。 ○幼児の感想を聞く。 ○幼児と別れの挨拶をする。	○1年生の担任の話を聞く。 ○1年生の感想を聞く。 ○幼児が感想を言う。 ○1年生にお礼をする。	○遊んだ楽しさや感謝の気持ちを保育者が話し、全員で感謝の気持ちを込めてお礼を伝えられるように配慮する。 ○交流の中での経験が、園生活でも再現できるように環境を構成する。
10:00				
7 準備物	〈小学校〉・どんぐりおもちゃ (一人一つ製作する)			
8 評価	〈小学校〉 ・ 幼児との関わりを楽しんだり、自分から仲良くなろうとしたりしていたか。 〈幼稚園・保育所〉 ・ どんぐり遊びを楽しみながら、1年生と話したり、触れ合ったりすることができたか。 ・ 教室や小学校の雰囲気に関心をもって、見たり話を聞いたりしていたか。			

## 活動名 仲良くなろう！③ ～交流給食～

1 日時	○学期 月 日 校時 ( : ~ : )	年長児 ( 組)	計 名	
2 場所	教室もしくはランチルーム	5年生 ( 組)	計 名	
3 めあて ・ ねらい	小学校 (めあて)	・幼児に対して優しい気持ちを持ち、給食のルールやマナーを教える。		
	幼稚園 保育所 (ねらい)	・ペアの5年生と一緒に給食を食べ、親しみの気持ちをもつ。 ・小学校の給食や雰囲気に関心をもつ。		
4 事前指導		6 環境図		
幼稚園・保育所：給食のイメージをもてるよう、就学に向けた絵本を 読んだり写真を見たりする。		<机の並べ方>		
小学校：・ルールやマナーの確認 ・座席、名札カード、ランチョンマットの作成 ・どのようにすれば幼児と楽しく給食を食べられるか、楽し くマナーやルールを伝えられるかをグループ毎に考えら れるようにしておく。		※児童機の側面に児童、座りやすいところに幼 児を配置する。		
5 活動の進行				
はじめの挨拶～活動中 5年生 ( )		○児童 ●幼児		
時間	援助・環境 (児童に向けて)	児童の動き	幼児の動き	援助・環境 (幼児に向けて)
11:30	○事前に決めたグループ毎の決 まりごとやめあてを意識して 動いているか、見守る。	○机を給食の隊形に動か す。	○トイレを済ませ待機す る。	○5年生と一緒に給食が食 べられることを伝え、給食 を楽しみにできるように する。
11:45	○必要に応じて、それらを思い出 せるように、声掛けをする。	○配膳し、机に給食を並 べる。		
12:10		○幼児を迎えに行く。	○5年生が迎えに来る。 ○手をつないで、ランチ ルームへ行き、着席す る。	○楽しみや緊張など幼児の 気持ちを受け止め、安心し て参加できるようにする。
12:20		○開会の言葉を言う。 (代表児童) 「いただきます」  ○会食をする。	○会食をする。	○食事の量に配慮する。 ○一人一人の様子を確認し ながら、苦手なものも一口 でも挑戦できるように声 を掛ける。 ○5年生との関わりを楽し めるように、必要に応じて 仲立ちする。 ○その後の生活でも給食の 話題を出し、食べることへ の意欲や小学校生活への 期待につなげる。
12:50		○片付け始める。	○5年生に手伝ってもら いながら片付けをす る。	
12:55		○閉会の言葉を言う。 (代表児童) 「ごちそうさま」		
13:00		○幼児を送り届ける。	○5年生にお礼を言う。	
7 事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー確認</li> <li>・グループ決め</li> </ul>			
8 評価	〈小学校〉 ・幼児に対して優しい気持ちを持ち、給食のルールやマナーを教えることができたか。 〈幼稚園・保育所〉 ・ペアの5年生と一緒に給食を食べ、親しみの気持ちをもっていたか。 ・給食や小学校の雰囲気に関心をもっていたか。			

## 活動名 仲良くなろう！④ ～学校体験～

1 日時	○学期 月 日 校時 ( : ~ : )		年長児 ( 組 ) 計 名 1 年生 ( 組 ) 計 名	
2 場所	各教室			
3 めあて ・ ねらい	小学校 (めあて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知っていることを進んで伝えようとする。</li> <li>・相手のことを考えて、できることをしようとする。</li> </ul>	年長児 1 人に対して、1 年生 1 人～2 人のグループをつくる。	
	幼稚園 保育所 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの 1 年生に教えてもらい、親しみをもつ。</li> <li>・ランドセルや筆記具等を使い、就学に期待をもつ。</li> <li>・教室や授業の雰囲気を感じる。</li> </ul>		
4 事前指導			6 環境図	
小学校：一年間の自分たちの成長を振り返る。 幼児のために自分たちがどんなことができるかを考える。 ペアの幼児の名前を知り、招待状を書いて渡す。 幼稚園・保育所 : 児童と交流することへの期待をもてるようにする。				
5 活動の進行 ( ) 教諭 (活動内容: ) ( ) 教諭 (活動内容: )				
時間	援助・環境 (児童に向けて)	児童の動き	幼児の動き	援助・環境 (幼児に向けて)
9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師が幼児の名前を呼ぶ。</li> <li>○児童が自信をもって幼児を誘導できるような言葉を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室に来た幼児を迎え入れる。</li> <li>○教室前方に並ぶ。</li> <li>○ペアの幼児を席に案内する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校各教室に行く。</li> <li>○教室後方に並ぶ。</li> <li>○ペア児童の隣の席に座る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任同士が笑顔で言葉を交わし、幼児の安心感につながるようにする。</li> <li>○互いの顔が見えるように並び順に配慮する。</li> </ul>
9:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児への思いやりある言動を受け止める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○始業の挨拶をする。</li> <li>○音読する。</li> <li>○教科書をペアの幼児に見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○始業の挨拶を見る。</li> <li>○音読を聞く。</li> <li>○教科書をペアの児童に見せてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊張している幼児には、安心感をもてるような声を掛ける。</li> <li>○児童の優しさに気付けるような言葉を掛けたり、喜びに共感したりする。</li> </ul>
9:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が、自分達の成長を実感できるような言葉を掛ける。</li> <li>「さすが」「こんなこともできるの?!」など</li> <li>○戸惑っている児童には、質問をして自分から話すきっかけをつくる。</li> <li>「これってなに?」「どうやって使うの?」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆箱の中身を見せる。</li> <li>○プリントにペアの幼児の名前を書く。</li> <li>○幼児の取り組みに○を付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆箱の中身を見せてもらう。</li> <li>○鉛筆を使った活動に取り組む。</li> <li>○色鉛筆を使って塗り絵をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1 年生になることへの期待がもてるような言葉を掛ける。</li> <li>「1 年生みたい」「これで準備オッケーだね」「こういう物を使うのね」</li> <li>「ランドセル似合っているね」など</li> <li>○掲示物やロッカー等、周りの環境に気付けるような言葉を掛ける。</li> </ul>
10:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランドセルを背負わせ、廊下を歩く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランドセルを背負い、廊下を歩く。</li> </ul>	
10:10		<ul style="list-style-type: none"> <li>○校歌を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校歌を聴く。</li> </ul>	
10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者から、児童が幼児のために考えたことや、頑張ったことが伝わるように話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○終業の挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○終業の挨拶を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者から、児童が幼児のために考えてくれたことや、頑張ってくれたことが伝わるよう話をする。</li> </ul>
10:20		<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児と挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童にお礼を言う。</li> </ul>	
7 準備物	〈小学校〉招待状、プリント      〈幼稚園・保育所〉プリント作成補助			
8 評価	〈小学校〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児と進んで交流していたか。</li> </ul> 〈幼稚園・保育所〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの 1 年生に教えてもらい、親しみをもつことができていたか。</li> <li>・ランドセルや筆記具等を使い、就学を楽しみにすることができていたか。</li> <li>・教室や授業の様子を、関心をもって見ていたか。</li> </ul>			





幼稚園（5歳児V期）	○経験する内容 ☆環境構成・教師の支援、援助	小学校（入学後3週間）
<p><b>身支度</b></p>  <p>• 一日の流れや活動の流れを時計や絵表示を用いて知らせます。 • 時間を意識して行動できた姿を認めていきます。</p>	<p><b>身の回りの支度</b></p> <p>○自分で気付いたり確認したりできる。 ☆絵表示や板書を活用する。</p>	<p><b>1 朝の支度・帰りの支度</b></p>  <p>登校してきたら、黒板を確認します。 今日何をするのか見て分かるようにしました。</p>
<p><b>好きな遊び</b></p> <p>投げごまや縄跳び、フープなど、自分なりに課題をもって取り組んだり、友達から刺激を受けて挑戦したり、いろいろなやり方で試したりするようになります。</p>  <p>• 活動の始まりや終わりの時間を伝えて時計を見て行動する経験を積んでいきます。 • 自分の課題をもって取り組む姿を認め頑張っている気持ちを励ましたり援助したりして、やり遂げた満足感を味わえるようにします。</p>	<p><b>自ら取り組む遊び・学び</b></p> <p>○自分から課題をもって取り組む。 ○友達と関わったり刺激を受けたりする。 ○自分なりにやり遂げた満足感を味わう。 ☆がんばっている姿を励ましたり援助したりする。</p>	<p><b>2 にこにこタイム</b></p> <p>学校へ登校したら安心して過ごせるように、まずは遊びの中から選択して遊びます。</p>  <p>机の配置を「しんけんタイム」以外ではグループにしておきます。同じ遊びをしている児童同士で話したり、一緒にやってみたり自然に友達ができました！</p>  <p>教室後方にゴザを用意しリラックスできる空間にしました。カードゲームをしたり、本読みをしたり使い方は自由です。</p>
<p><b>学級活動（ゲーム、話し合い、行事に向けての活動など）</b></p> <p>学級のみんなとのつながりが感じられるように今まで歌った歌や親しんできたダンス、ゲームなどを一緒に楽しむ機会とします。 幼稚園で楽しかったことやできるようになったことを振り返りながら、話し合う機会をもち、互いの成長を認め合えるようにします。</p>  <p>短い時間で、内容が分かりやすいように絵表示、実物などを活用し、集中して聞くことができますようにします。</p>	<p><b>学級の友達と一緒に取り組む遊び・学び</b></p> <p>○学級のみんなとのつながりを感じる。 ☆短い時間で集中して取り組めるようにする。 ☆学級のみんんで生活していくための課題を一緒に考えるなどして、みんなで共に生活していこうとする意識を醸成できるようにする。</p>	<p><b>3 なかよしタイム（学級活動）</b></p> <p>体と心をほぐし、学校生活への見通しをもちます。 歌やダンスをみんなでしたり、担任の読み聞かせを聞いたりします。</p> <p><b>4 わくわくタイム（生活科）</b></p> <p>学校のことや学級の友達のことを知ります。（活動例：学校探検・じゃんけん列車）</p>  <p>これから過ごす学校を探検しました！探検途中では副校長先生に「なにをしているの？」とたずねてもらい、関わりのきっかけをつくりました。</p> <p><b>5 しんけんタイム（教科指導）</b></p>  <p>自分の名前のひらがなを覚えて、みんなで「サイン交換ゲーム」をしました。友達の名前を集めて、みんな仲良くなりました。</p>
<p><b>当番活動</b></p> <p>弁当時のテーブル拭き、お茶、挨拶など、その日の当番が行います。</p>  <p>• 栽培、収穫、調理、食事を通して様々な食材への興味・関心の気持ちを育てていきます。 • 交流給食を通し、小学校への不安を取り除き、期待がもてるようにしていきます。</p>	<p><b>給食・当番活動</b></p> <p>○自分たちでできることを自分たちでやろうとする喜びを感じる。 ☆生活に必要なことを自分たちで考えて取り組むことのできるようにする。 ☆友達同士で声を掛け合って当番に取り組む様子を認める。</p>	<p><b>6 給食当番</b></p> <p>机をグループの形にして給食の準備をします。同じ当番になった子と協力して、主食、主菜、汁物などをよそいます。当番表を見て、何の担当をするのか確認をして取り組みました。</p>





小学校第一学年  
学年だより（4月）例

入学当初の学年だよりには、月、週の予定、持ち物等が細やかに記載されています。保育所等、幼稚園は入学当初の児童の生活について把握し、就学前の指導に生かすことが大切です。（本資料は例であり、小学校ごとに学校生活の約束があります。）

**今週の予定** ※すべての持ち物にひらがなで記名をお願いします！！

	主な学習・行事	持ち物・提出物・その他 ※「毎日持ってくる物」も必ず確認してください！	下校時刻
9日 火	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の準備のしかた、座り方</li> <li>名前の順の並び方</li> <li>トイレ、水道の使い方</li> <li>廊下、階段の歩き方</li> <li>靴箱の使い方</li> <li>下校方面別並び方練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆下校の目印となるリボンの確認を、必ず毎朝お子さんとしてください。</li> <li>・防災頭巾</li> <li>宿題 連絡帳とお便りを見せる。（毎日確認をお願いします。）</li> </ul>	12:20頃
10日 水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具箱の使い方</li> <li>・1年生を迎える会練習</li> <li>・学習の姿勢について</li> <li>・国語「はじめてのなまえ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具箱セット（虫歯については下記をご確認ください）</li> <li>・自由帳</li> <li>宿題 鉛筆削り（毎日）</li> </ul>	12:20頃
11日 木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、ノートの記名確認</li> <li>・体育「体育着の着替え方・しまい方」</li> <li>・国語「えんぴつのもちかた」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語と算数と書写の教科書</li> <li>・国語と算数のノート</li> <li>・体育袋 書写の教科書は預かります</li> <li>※本日以降、国語と算数の教科書・ノートは、毎日持たせて下さい。</li> <li>・本日までの『提出書類封筒』を、必ずもたせてください。</li> </ul>	12:20頃
12日 金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図工「ぼく・わたしのかお」</li> <li>・国語「あさ」</li> <li>・計測</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図工の教科書</li> <li>・図工スモックと袋</li> <li>・国語の教科書とノート</li> </ul>	12:20頃

入学後、一週間の予定です。  
小学校生活を送るための基礎を学びます。  
小学校担任からの連絡事項を、連絡帳を介して保護者に伝えたり、学校から配布された手紙を保護者に渡したりします。  
幼児期の生活の中でも、園からの配布物を自分で保護者に渡すことを促したり、簡単な連絡事項を幼児から保護者に伝えたりする機会を設けたりすることがつなげられます。

**持ち物について**

すべての持ち物にひらがなで名前を書いてください。下着や靴下、色鉛筆やクレヨン、算数ブロック等、一つ一つ必ず記名をお願いします。学用品は、実用的で無地のものをご用意ください。持ち物については、（毎日持ってくる物）と、上記の「今週の予定」に書かれている物を持たせるようお願いいたします。

<p><b>（毎日持ってくる物）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ランドセル</li> <li>連絡帳・連絡袋</li> <li>筆箱</li> <li>削った鉛筆5本（2BまたはB）</li> <li>削った赤鉛筆1本</li> <li>消しゴム1個</li> <li>下じき1枚（無地）</li> <li>ハンカチ・ティッシュ</li> </ol> <p>持ち物全てに記名をしましょう。</p>	<p><b>（道具箱の中身）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>色鉛筆（12色以内：クーピー不可です。）</li> <li>はさみ</li> <li>スティックのり</li> <li>クレヨン</li> <li>自由帳</li> <li>算数ブロック（ブロックのみ 記名後15日まで）</li> <li>図工用でんぶんのり（7は後日学校で一括購入します。）</li> </ol>	<p><b>（学校に置いておく物）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆防災頭巾（袋入り）</li> <li>○日に持たせてください。</li> <li>☆図工スモックと巾着袋</li> <li>○日に持たせてください。</li> <li>☆教科書（道徳・生活・図工）</li> <li>記名の上、○日（△）に持たせてください。</li> </ul>
--	---	---

※当面の間、名札は着用したまま帰ります（名前が見えない向きにして帰ります）。  
家庭で、一人で着脱できるよう、安全ピンの付け外しの練習をお願いします。

**（手さげに入れて、毎週末持ち帰るもの）**（洗濯をして、週始めに持たせてください）

- 上ばき・上ばき袋
- 体育着セット
- 給食白衣（当番のみ）
- 給食袋（テールブルクロス）
- マスク（使い捨てでも洗える物でも結構です。当番の時のみ使います。）

**（家庭で用意していただくもの）**

★体育袋の中に…

- ・体育着上下
- ・赤白帽子
- ・汗ふきタオル（ハンドタオルくらいの大きさ）

☆給食袋の中に…

- ・テールブルクロス…40×60cm位の綿製をお願いします。市販のものを求める場合も、このサイズ・布地を基準にお選びください。
- ・マスク…給食当番の時だけ使用しますが、毎回入れておいてくださるようお願いいたします。記名してください。

入学に向けて家庭で準備する物がたくさんあります。保護者に対して、入学の準備を子どもと一緒に進めながら、入学への期待を膨らませるとともに、自分の持ち物を認識できるようにしていくことを、伝えていきましょう。



**（お知らせとお願い）**

**登校前の健康観察をお願いします**

学校という新しい環境の中で、子どもたちは様々な約束ごとなどを学んでいきます。この時期は心身ともに大変疲れやすくなります。下校後は十分体を休めるようご配慮ください。寝起きの様子・食欲・声の調子や顔色・排便などをよく見てあげてください。

**登下校について**

**（登校時間）…余裕をもって出られるよう、声をかけてください。**

- 個人で登校します。登校時刻（学校へ着く時刻）は○：○○～○：○○です。
- 欠席・遅刻の場合は、連絡帳に書いてご兄弟・近所のお子さんなどから担任に届けてもらうようにしてください。連絡帳が間に合わなかった場合は、お電話にてご連絡ください。
- 遅刻・早退の場合は、必ず保護者の方が教室までお子さんを送り迎えしてください。

**（下校時刻）…学校を出る時刻です。しばらくの間は色ごとに分かれて集団下校します。**


- 下校の方向をはっきりさせるため、標準帽に通学路別のリボンを付けてください。
- 児童やプレディへ行く人は、その日の登校前にお子さんと話し合い、本人が行くかどうか分かるように、リボンを付け加えてください。（※プレディに行く場合は、カードへの記載も忘れずにしてください。）
- ワッペンやリボンを付ける位置は別紙「配布物について」の封筒裏面をご覧ください。
- 学童擁護主事と担任が途中まで付き添います。（○月○日(△)までの予定）
- 下校時刻は「今週の予定」をご覧ください。（やむを得ず変更になる場合があります。）

**毎日の持ち物について**

学年だよりをご覧の上、お子さんと一緒に準備し、その日の放課後の予定も話しながら、忘れ物がないようにご配慮ください。前の日に1回、その日の朝にもう1回など、2回確かめる習慣をつけるようにしてください。


**道具箱について**

写真のように、ふたにも記名後シールを貼ってください。机の中で引き出しのように使い、整頓しやすくします。



**粘土について**

写真のように、粘土のふたと身の狭い方の左側面とヘラに、記名してください。



入学後、たくさんの物を自分で管理することになります。身の回りの始末、身の周りの管理が自分で行えるように、園生活の中で習慣を付けていきましょう。

新年度当初、健康診断に関わる行事が多くあります。  
幼児期の生活の中で経験させていることではありますが、定着できているのか確認することが大切です。また、状況を判断し、自分で行動できる幼児を育てていくことが重要です。

例)

- ・順番に並ぶ
- ・スムーズに着替える
- ・静かに移動、待機する
- ・自分の名前を言う
- ・返事をする
- ・自分からお礼を言う 等



## 保幼小連携推進委員会

委員長	月島幼稚園	園長	上竹陽子
副委員長	阪本小学校	校長	小川優
副委員長	明石町保育園	園長	森優子
委員	桜川保育園	副園長	瀬田優子
	晴海保育園	副園長	松田美恵
	月島幼稚園	主任教諭	吉澤恵美
	豊海幼稚園	主任教諭	渡邊大二郎
	有馬小学校	主任教諭	山田悦子
	豊海小学校	主任教諭	小寺文子

---

## 事務局

福祉保健部	子育て支援課	課長	溝口 薫
	子育て支援課	保育指導係主査	首藤 裕子
教育委員会事務局指導室		指導室長	中山 晴義
		教育支援担当課長	細山 貴信
		統括指導主事	上原 史士
		統括指導主事	清水 浩和
		指導主事	平野 収
		指導主事	中村 真紀絵
		指導主事	上田 純一
		指導主事	五十嵐 容子
		幼児教育担当専門幹	中島 由美子

